

# 寺泊地域版「まちづくりの検討機能について」

R2.10.22(木)第3回寺泊地域委員会資料

## 1. 地域委員会におけるこれまでの意見等(要約)

- ・コミセンに一本化した方が住民の声が届きやすい。
- ・地域に密着しているという観点で見ればコミセン推進協議会のほうが良い。
- ・個人的には地域委員会は継続してほしい。
- ・地域のことは地域で考えられる組織を残しておくべき。

## 2. コミセン推進協議会との意見交換会(7/30:地域委員会全体会)

### 【コミセン推進協議会の意見】

- ・現在、様々な課題があることから、地域委員会の機能を受けることは難しい。

### 【まとめ】

- ・今後、地域委員会とコミセン推進協議会で継続して意見交換を行い、今後の方向性について議論していく。

## 3. 論点整理

### ① なぜ地域委員会を見直す必要があるのか？

- ・合併の不安解消という大きな役目は終えた。
- ・コミセンなどより広く意見を言える組織が生まれ、地域特性に応じた体制が必要。
- ・意見を言うだけでなく実行に結びつける体制が求められている。

### ② 地域委員会の存続・廃止についての市の方針は？

- ・廃止ありきではないが、各地域の実情に合った柔軟な組織づくりが必要。
- ・一部地域に限定した地域委員会設置する規定は、条例的には難しい。

### ③ 市が設置している地域委員会であり、方針は市が決定すべき。

- ・市として方針は決定する。
- ・地域委員会の意見をお聞きし、各地域の実情を踏まえた組織を設置したい。

### ④ 新組織に対する市の基本方針が不明(位置づけ、役割・権限、予算等)・**寺泊支所案**

- ・地域全体のまちづくりを検討する最上位の組織として位置付ける。
- ・役割は、①地域課題や解決策の検討、②情報共有 ③連携や役割分担の検討  
④行政への要望等 ⑤行政からの諮問に対する答申等
- ・各地域で組織形態が異なることから、「要綱」で規定したい。
- ・設置主体は「長岡市」、事務局は基本的に「支所」。
- ・必要な予算(謝金・会議費等)は確保する。
- ・委員の選考方法や任期等は各地域に委ねる。

### ⑤ 「地域委員会」と「仮称:地域会議」の違いが不明確

- ・基本的な役割は変更ない。市に対する要望機能も明確に位置付けする。
- ・大きな違いは「行政主導」ではなく、「自発的・自主的」な議論を促進。
- ・地域委員会は「議論」の場。地域会議は「議論し実行に向けた合意形成」の場